

# 諮 問 文

次の事項について、別添理由を添えて諮問します。

諮問

「佐世保市立図書館の利便性向上について」

平成27年11月24日

佐世保市立図書館

館長 川嶋 健司

(理由)

佐世保市立図書館は、平成25年4月、佐世保市図書館協議会に対して「佐世保市立図書館の今後の運営のあり方について」と題して諮問を行いました。

これに対して、平成26年3月、佐世保市図書館協議会から「長期的な戦略を立てた図書館の運営について、図書館が市民の十分な読書環境を整えた身近で利用しやすい施設でなければならない」という答申をいただきました。

答申の内容を具体化するものとして、まずは、平成27年2月には、図書館システムの更新を行うなど、利用者の利便性を向上させるために、情報環境を整備してまいりました。さらには、地区公民館と連携し、貸出返却拠点を増やすことも図ってまいりました。

また、答申では、「市民からは様々な要望が出されるが、それが本当に応えるに値する要望であるかどうかを見極めることが大切である。本当の市民サービスとは何なのかを選ぶことが必要である」とのご意見がありました。

図書館システムのリプレイスも完了したことから、本年4月には、利用者アンケートを実施し、利用者の意向を把握することに努めてまいりました。この中では、「資料の拡充」「開館時間の延長」「開館日数の増加」「座席数の増席」といった要望が上位を占めました。

こうした利便性向上の要望のうち、「資料の拡充」や施設改善も伴う「座席数の増席」などについては、中長期的なスパンの中で考えること、また、年次的な予算確保等が必要となり、今後、継続して検討していかなければならない課題であると認識しております。

また、社会生活の多様化等もあり、「開館時間の延長」や「開館日数の増加」などについては、全国的に求められてきており、本市においても例外ではありません。この点については、市民サービスの向上あるいは利便性の向上のため、民間活力を取り入れ運営する公立図書館も増えてまいりました。いずれにいたしましても、公立図書館を取り巻く環境または公立図書館に対するニーズは、徐々に変化してきている現状にあります。

こうした状況を踏まえて、佐世保市立図書館においても、利便性の向上について、あらためて研究する必要性が出てきていることから、佐世保市図書館協議会において検討をお願いするものです。